

1, 学校の教育目標

人の話が最後まで聞ける子
 その後の、すべての「学ぶ」ことの基本になること
 「ありがとう」「ごめんなさい」が言える子
 感謝の気持ち、善悪の判断
 汗をかいて楽しく遊べる子
 夢中になって遊ぶことが「からだ」を作る

2, 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画をもとに設定した学校評価の具体的な目標や計画

- ・教育設備等の充実
- ・幼稚園見学の積極的受け入れ及び、保育内容の公開
- ・未就園児及び在園児に対しての子育て支援行事の開催
- ・障害児教育における体制作り

3, 評価項目の達成及び取組状況

| 評価項目 | 結果 | 理由 |
|-----------|----|---------------------|
| 教育設備等の充実 | A | クラウドの周知が徹底できた。 |
| 子育て支援について | B | 行事等に未達成の部分がある。 |
| 保育内容の公開 | A | 幼稚園の伝えたいことは定着しつつある。 |
| 障害児教育の体制 | A | 一定の成果はあがっている。 |

4, 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

| 結果 | 理由 |
|----|---|
| B | 職員が充足していない。 職員の意識は高くなっていることを感じる。 保護者の満足度の確認を細部にしていく必要がある。 |

5, 今後取り組むべき課題

| 課題 | 具体的な取組方法 |
|----------|---|
| 職員の意識向上 | 個々の職員の意識は高くなっているが、決定・判断という部分での連携が不足がちであるため、権限。責任をさらに明確にする必要がある。 |
| 教材の精査、検討 | 研修を含み、新しい物を取り入れる仕組みを作る。 |